



テンプレートファイルを使用してクラスタをセ ットアップします

System Manager Classic

NetApp
June 22, 2024

目次

System Manager - ONTAP 9.7	1
以前のバージョンでテンプレートファイルを使用してクラスタをセットアップします	
System Manager - ONTAP 9.7 以前のバージョンでクラスタを作成します	3
System Manager - ONTAP 9.7 以前を使用してネットワークをセットアップします	4
System Manager - ONTAP 9.7 以前のサポートページをセットアップします	6
System Manager - ONTAP 9.7 以前でストレージの推奨事項を確認します	7
System Manager - ONTAP 9.7以前のバージョンでSVMを作成します	7

System Manager - ONTAP 9.7 以前のバージョンでテンプレートファイルを使用してクラスタをセットアップします

ONTAP System Manager クラシック（ONTAP 9.7 以前で使用可能）に付属のテンプレートファイルを使用して、クラスタの作成、ノード管理ネットワークとクラスタ管理ネットワークのセットアップ、およびイベント通知のセットアップを行うことでクラスタをセットアップできます。（ONTAP System Manager 9.6以降では、AutoSupportはサポートされません）。テンプレートファイルは、.xlsx 形式または .csv の形式で入力し

このタスクについて

- ONTAP 9.1 以降をサポートするクラスタの場合、ONTAP 9.1 以降を実行しているストレージシステムのみを追加できます。
- ファイルのアップロード時にすべてのフィールドが自動的に入力されるわけではありません。

パスワードやクラスタ管理ポートなど、一部のフィールドの値は手動で入力する必要があります。

手順

1. Webブラウザを開き、設定したノード管理IPアドレスを入力します。 <https://node-management-IP>
 - クラスタのクレデンシャルを設定している場合は、ログインページが表示されます。
ログインするにはクレデンシャルを入力する必要があります。
 - クラスタのクレデンシャルを設定していない場合は、セットアップガイドウィンドウが表示されません。
2. をダウンロードします .xlsx テンプレートファイルまたは .csv テンプレートファイル。
3. テンプレートファイルに必要な値をすべて指定し、ファイルを保存します。



- テンプレート内の値以外の列は編集しないでください。
- テンプレートファイルのバージョンは変更しないでください。

4. * 参照 * をクリックし、更新されたテンプレートファイルを選択します。
 - テンプレートファイルは、.csv の形式で入力しテンプレートファイルを .xlsx を使用して、ファイルを .csv をクリックし、ファイルをアップロードします。
 - このファイルに使用されるエンコードは次のとおりであることを確認する必要があります。UTF8。そうでない場合、値は読み取られません。
5. [アップロード] をクリックします。

テンプレートファイルで指定した詳細を使用して、クラスタセットアップのプロセスが実行されます。

6. クラスタの詳細を表示するには、* Guided Setup * アイコンをクリックします。

7. **[Cluster]** ウィンドウで詳細を確認し、 **[*Submit and Continue]** をクリックします。

必要に応じてクラスタの詳細を編集できます。

[クラスタ] ウィンドウに 2 回目ログインすると、 **[* 機能ライセンス *]** フィールドがデフォルトで有効になります。新しい機能ライセンスキーを追加することも、事前に入力されたライセンスキーをそのまま使用することもできます。

8. **[Network]**(ネットワーク *) ウィンドウで詳細を確認し、 **[*Submit and Continue]**(送信して続行) をクリックします。

必要に応じてネットワークの詳細を編集できます。

9. **[Support]**(サポート) ウィンドウで詳細を確認し **[*Submit and Continue]**(送信して続行) をクリックします

必要に応じてサポートの詳細を編集できます。

10. Storage * ウィンドウで詳細を確認し、アグリゲートを作成するか、クラスタのセットアップを終了します。

状況	作業
ストレージのプロビジョニングと SVM の作成を行わずにクラスタセットアップを終了します	[この手順をスキップする *] をクリックします。
アグリゲートを使用してストレージをプロビジョニングし、 SVM を作成します	[Submit and Continue] をクリックします。

必要に応じてサポートの詳細を編集できます。

11. Create Storage Virtual Machine (SVM) * ウィンドウで詳細を確認し、 * Submit and Continue * をクリックします。

必要に応じて、SVM 名を編集したり、別のデータプロトコルを選択したり、ネットワークインターフェイスとアダプタの詳細を変更したりできます。

12. **[* ストレージ *]** ウィンドウで **[この手順 * を省略]** をクリックした場合は、 **[* 概要 *]** ウィンドウで詳細を表示し、 **[* クラスタの管理 *]** をクリックして System Manager を起動します。

13. **[* ストレージ *]** ウィンドウで **[送信して続行]** をクリックした場合は、 SVM ウィンドウで詳細を確認し、 **[* 送信して続行]** をクリックします。

必要に応じて SVM の詳細を編集できます。

14. すべての詳細を * Summary * ウィンドウで確認し、 * Provision an Application * (アプリケーションのプロビジョニング) をクリックしてアプリケーション用のストレージをプロビジョニングするか、 * Manage Your Cluster * (クラスタの管理) をクリックしてクラスタセットアッププロセスを完了し、 System Manager を起動するか、 * Export Configuration * (設定のエクスポート) をクリックして構成ファイルをダウンロードします。

◦ 関連情報 *

System Manager - ONTAP 9.7 以前のバージョンでクラスタを作成します

ONTAP System Manager クラシック（ONTAP 9.7 以前で使用可能）を使用して、データセンター内にクラスタを作成およびセットアップできます。

このタスクについて

ONTAP 9.1 以降をサポートするクラスタの場合、ONTAP 9.1 以降を実行しているストレージシステムのみを追加できます。

手順

1. Webブラウザを開き、設定したノード管理IPアドレスを入力します。 <https://node-management-IP>
 - クラスタのクレデンシャルを設定している場合は、ログインページが表示されます。

ログインするにはクレデンシャルを入力する必要があります。

- クラスタのクレデンシャルを設定していない場合は、セットアップガイドウィンドウが表示されません。

クラスタをセットアップするには、* Guided Setup * アイコンをクリックします。

2. [* Cluster*] ページで、クラスタの名前を入力します。



すべてのノードが検出されない場合は、* 更新 * をクリックします。

そのクラスタネットワーク内のノードが Nodes フィールドに表示されます。

3. オプション：*必要に応じて、Nodes *フィールドでノード名を更新します。
4. クラスタのパスワードを入力します。
5. *オプション：*機能ライセンスキーを入力します。
6. [Submit（送信）] をクリックします。

次に何をするか

ネットワークページにネットワークの詳細を入力して、クラスタセットアップを続行します。

- 関連情報 *

[ライセンスウィンドウ](#)

[\[構成の更新 ウィンドウ\]](#)

System Manager - ONTAP 9.7 以前を使用してネットワークをセットアップします

ONTAP System Manager クラシック（ONTAP 9.7 以前で使用可能）を使用して、ネットワークを設定してクラスタ、ノード、およびサービスプロセッサを管理できます。また、ネットワークウィンドウを使用して、DNS および NTP の詳細も設定できます。

作業を開始する前に

クラスタのセットアップが完了している必要があります。

このタスクについて

- クラスタの作成画面には、稼働しているノードのみが表示されます。

それらのノードに対して LIF を作成することができます。

- IP アドレス範囲を無効にして、クラスタ管理、ノード管理、およびサービスプロセッサ管理の各ネットワークの IP アドレスを個別に入力することができます。

IP アドレス範囲を有効にした状態でネットワークを設定する

IP アドレス範囲を有効にしてネットワークを設定することができます。IP アドレス範囲を使用すると、同じネットマスク範囲または異なるネットマスク範囲の IP アドレスを入力できます。

手順

1. [IP アドレス範囲 *] フィールドに IP アドレスの範囲を入力し、[適用 *] をクリックします。

オプション	説明
同じネットマスクの IP アドレスの範囲を使用しています	IP アドレスの範囲を入力し、* 適用 * をクリックします。 IP アドレスがクラスタ管理、ノード管理、およびサービスプロセッサ管理のネットワークに順番に適用されます。
異なるネットマスクの IP アドレスの範囲を使用する	各 IP アドレス範囲を別々の行に入力し、* 適用 * をクリックします。 最初の IP アドレスがクラスタ管理に適用され、残りの IP アドレスがノード管理とサービスプロセッサ管理のネットワークに順番に適用されます。



クラスタ管理、ノード管理、およびサービスプロセッサ管理の IP アドレス範囲を入力した場合、それらのフィールドの IP アドレスの値を手動で変更することはできません。すべての IP アドレスが IPv4 アドレスであることを確認してください。

2. ネットマスクとゲートウェイの詳細を入力します。

3. Port * フィールドで、クラスタ管理用のポートを選択します。
4. ノード管理の「* Port *」フィールドに「* e0m *」が指定されていない場合は、ポートの詳細を入力します。



デフォルトでは、Port フィールドには e0M と表示されます。

5. サービスプロセッサ管理のデフォルト値を上書きする場合は、必須のゲートウェイの詳細が入力されていることを確認します。
6. **DNS Details** フィールドを有効にした場合は、DNS サーバーの詳細を入力します。
7. [NTP Details] * フィールドを有効にした場合は、NTP サーバの詳細を入力します。



代替 NTP サーバの詳細はオプションです。

8. [Submit (送信)] をクリックします。

次に何をするか

サポートページにイベント通知を入力して、クラスタのセットアップを続行します。

IP アドレス範囲を無効にした状態でネットワークを設定する

IP アドレス範囲を無効にしてネットワークを設定することができます。この場合、クラスタ管理、ノード管理、およびサービスプロバイダの各ネットワークの IP アドレスを個別に入力します。

このタスクについて

ネットワークページで IP アドレス範囲 * が無効になっている場合は、クラスタ管理、ノード管理、およびサービスプロセッサの各ネットワークの IP アドレスを個別に入力します。

手順

1. クラスタ管理 IP アドレスを「* クラスタ管理 IP アドレス *」フィールドに入力します。
2. クラスタ管理のネットマスクの詳細を入力します。
3. *オプション：クラスタ管理用のゲートウェイの詳細を入力します。
4. Port * フィールドで、クラスタ管理用のポートを選択します。
5. ノードを管理するためにネットマスクとゲートウェイの詳細を指定する場合は、「クラスタ管理 * のネットマスクとゲートウェイの設定を保持する」チェックボックスをオフにして、ネットマスクとゲートウェイの詳細を入力します。
6. ノード管理 IP アドレスを * Node Management * フィールドに入力します。
7. ノード管理の「* Port *」フィールドに「* e0m *」が指定されていない場合は、ポートの詳細を入力します。



デフォルトでは、Port フィールドには e0M と表示されます。

8. サービスプロセッサ管理用のネットマスクとゲートウェイの詳細を入力します。
9. サービスプロセッサの IP 管理アドレスを「* Service Processor Management *」フィールドに入力します。

10. **DNS Details** フィールドを有効にした場合は、DNS サーバーの詳細を入力します。

11. [NTP Details] * フィールドを有効にした場合は、NTP サーバの詳細を入力します。



代替 NTP サーバの詳細はオプションです。

12. [Submit (送信)] をクリックします。

次に何をするか

サポートページにイベント通知を入力して、クラスタのセットアップを続行します。

- 関連情報 *

"サービスプロセッサとは何ですか？また、どのように使用しますか？"

"CLI を使用して clustered Data ONTAP 8.2 以降で NTP を設定およびトラブルシューティングする方法"

"ONTAP 9 ドキュメンテーション・センター"

[ネットワーク ウィンドウ]

[構成の更新 ウィンドウ]

[日付と時刻 ウィンドウ]

サービスプロセッサウィンドウ

System Manager - ONTAP 9.7 以前のサポートページをセットアップします

ONTAP System Manager クラシック（ONTAP 9.7 以前で使用可能）を使用して、サポートページを設定できます。クラスタセットアップの最後のステップはサポートページのセットアップです。このステップでは、イベント通知を設定し、シングルノードクラスタの場合はシステムバックアップも設定します。

作業を開始する前に

クラスタとネットワークのセットアップが完了している必要があります。

手順

1. メールホスト、SNMP トラップホスト、または syslog サーバを使用して、イベント通知を設定します。



イベント通知システムを少なくとも 1 つ設定する必要があります。

2. シングルノードクラスタの場合は、FTP サーバまたは HTTP サーバにシステムバックアップを設定します。



システムバックアップはシングルノードクラスタでのみ利用できます。

3. [送信] をクリックして続行します。 *

次に何をするか

ストレージの推奨事項を確認し、クラスタセットアップの SVM の作成に進みます。

System Manager - ONTAP 9.7 以前でストレージの推奨事項を確認します

ONTAP System Manager クラシック（ONTAP 9.7 以前で使用可能）のストレージウィンドウを使用して、アグリゲートの作成に関する推奨事項を確認できます。

作業を開始する前に

クラスタ、ネットワーク、およびサポートの詳細のセットアップが完了している必要があります。

このタスクについて

ストレージの推奨事項に従ってデータアグリゲートを作成することも、この手順をスキップし、あとで System Manager を使用してデータアグリゲートを作成することもできます。

手順

- ストレージの推奨事項に従ってデータアグリゲートを作成するには、* Submit and Continue * をクリックします。
- System Manager を使用してデータアグリゲートをあとから作成する場合は、* この手順をスキップ * をクリックします。

次に何をするか

ストレージの推奨事項に従ってアグリゲートを作成する場合は、クラスタセットアップの Storage Virtual Machine（SVM）の作成に進みます。

System Manager - ONTAP 9.7以前のバージョンでSVMを作成します

ONTAP System Manager クラシック（ONTAP 9.7 以前で使用可能）では、Storage Virtual Machine（SVM）ウィンドウを使用して完全に設定された SVM を作成できません。作成した SVM にストレージオブジェクトを作成すると、SVM からデータが提供されるようになります。



作業を開始する前に

- アグリゲートを作成してオンラインにしておく必要があります。
- アグリゲートに SVM のルートボリューム用の十分なスペースがあることを確認しておく必要があります。

手順

1. SVM の名前を入力します。
2. SVM のデータプロトコルを選択します。

状況	作業
Active Directory を使用して CIFS サーバを設定し、CIFS プロトコルを有効にします	<ol style="list-style-type: none"> a. [* Active Directory* (Active Directory *)] ボックスを選択します。 b. Active Directory の管理者名を入力します。 c. Active Directory の管理者パスワードを入力します。 d. CIFS サーバの名前を入力します。 e. Active Directory ドメインの名前を入力します。 f. 要件に応じて、この SVM にある * 1 つのデータ LIF を選択するか、この SVM * にあるノードに 1 つのデータ LIF を選択します。 g. データ LIF の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、ポートなどの詳細を指定します。 h. DNS の詳細を指定します。
ワークグループを使用して CIFS サーバを設定し、CIFS プロトコルを有効にします	<ol style="list-style-type: none"> a. [ワークグループ*] ボックスを選択します。 b. ワークグループの名前を入力します。 c. CIFS サーバの名前を入力します。 d. 要件に応じて、この SVM に * 1 つのデータ LIF * を選択するか、この SVM にあるノードに 1 つのデータ LIF * チェックボックスを選択します。 e. データ LIF の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、ポートなどの詳細を指定します。
NFS プロトコルを有効にします	<ol style="list-style-type: none"> a. [* NFS*] ボックスを選択します。 b. 要件に応じて、この SVM に * 1 つのデータ LIF * を選択するか、この SVM にあるノードに 1 つのデータ LIF * チェックボックスを選択します。 c. データ LIF の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、ポートなどの詳細を指定します。
iSCSI プロトコルを有効にします	<ol style="list-style-type: none"> a. [* iSCSI *] ボックスを選択します。 b. データ LIF の IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、ポートなどの詳細を指定します。

状況	作業
FC / FCoE プロトコルを有効にする	<p>a. FC / FCoE * ボックスを選択します。</p> <p>b. FC または FCoE プロトコル用の FC / FCoE ポートを選択します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>各ノードで少なくとも 1 つのポート（FC プロトコル用と FCoE プロトコル用）が正しく設定されている必要があります。</p> </div>
NVMe プロトコルを有効にします	<p>a. [* NVMe*] ボックスを選択します。</p> <p>b. NVMe プロトコル用の NVMe ポートを選択します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>NVMe を設定するには、いずれかのノードに NVMe 対応アダプタが少なくとも 1 つ必要です。また、ONTAP 9.5 以降では、SVM に関連付けられた HA ペアの各ノードに対して、少なくとも 1 つの NVMe LIF が設定されている必要があります。ペアの各ノードに対して作成できる NVMe LIF の数は 2 つまでです。</p> </div>

3. *オプション：*詳細オプション*アイコンをクリックし、デフォルト言語、セキュリティ形式、CIFSサーバの詳細、NFSの詳細などの詳細オプションを設定します。
4. Submit and Continue * をクリックして SVM を作成します。

次に何をするか

Submit and Continue（送信して続行）をクリックした場合、Summary（サマリ）ウィンドウで指定した詳細を確認し、* Manage Your Cluster（クラスタの管理）* をクリックして System Manager を起動するか、* Provision an Application（アプリケーションのプロビジョニング）* をクリックしてストレージアプリケーションをプロビジョニングするか、* Export Configuration * をクリックして構成ファイルをダウンロードする必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。